

第 V 部 調査票と単純集計結果

調査票と単純集計結果

調査期間 令和元年11月1日～11月25日
標本設計数 3,000 有効回収数(率) 1,353 (45.1%)
*「n」は、質問に対する回答者数の総数を表す。
「-」は、回答者が皆無であることを示す。
*比率(%)の数値は小数第2位を四捨五入しているため、
合計が100%にならないことがある。

令和元年度(2019年)

神奈川県『県民ニーズ調査』(第2回課題調査)

この調査は、県民の皆様のご意見やお考えをお聴きし、今後の県の施策を検討する基礎資料とするものです。日ごろのお考えを率直にお聴かせください。

【アンケートのテーマ】

- | | |
|-------------|------------------------|
| 1 気候変動への適応 | 8 地域社会との関わり |
| 2 環境に配慮した生活 | 9 「未病改善」の取組 |
| 3 生物多様性 | 10 かかりつけ薬剤師・薬局 |
| 4 鳥獣被害 | 11 肝炎・アルコール依存症対策 |
| 5 かながわの広報 | 12 妊娠・出産等に関するライフプランニング |
| 6 スポーツ | 13 地震対策の取組 |
| 7 地域コミュニティ | 14 自転車損害賠償責任保険等への加入 |

◆ 記入上の注意

- 1 この調査のご回答は、封筒のあて名のご本人様にお願いいたします。
- 2 お名前、ご住所の記入は不要です。
- 3 お答えは、直接、この調査票のあてはまる番号を○で囲んでください。
- 4 ご記入いただく筆記用具の種類や色の指定はありません。
- 5 わかる質問だけお答えいただければ結構です。

▼ **ご記入いただいた調査票は、同封の返送用封筒に入れ、11月25日(月)まで**にご投函ください。(切手は不要です。お名前やご住所の記入も必要ありません。)

▼ **インターネットからご回答された方は、調査票の郵送は不要です。**

この調査票についてわからないことがありましたら、お気軽にお問い合わせください。

【お問合せ先】

神奈川県 政策局 政策部 情報公開広聴課 広聴グループ

○ 電話 (045)210-1111 (内線3672~3676)

※ 受付時間：月～金 8:30～17:15 (土日祝日は閉庁)

○ 問合せフォーム (11月25日までの期間限定)

県民ニーズ調査HP (<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

の下部に掲載している「令和元年度調査対象者」向けお問合せフォーム
から送信してください。

気候変動への適応

問1 あなたは、「気候変動への適応」について知っていますか。(○は1つ) (n=1,353)(%)

- | | | | |
|---------------|------|------------------------|-----------|
| 1 知っている | 42.9 | 3 知らなかった(今回の調査で初めて知った) | 26.8 |
| 2 言葉は聞いたことがある | 27.1 | | (無回答 3.3) |

近年、気温上昇や大雨の頻度増加などの気候変動により、健康や自然災害などの分野への影響がすでに現れており、今後地球温暖化が進むとこれらの影響はさらに大きくなる恐れがあります。こうした気候変動の影響による被害を避けたり、軽減することを「気候変動への適応」といいます。

問2 あなたは、「気候変動への適応」に関心がありますか。(○は1つ) (n=1,353)(%)

- | | | | | | |
|-----------------|------|-----------------|-----|---------|-----------|
| 1 関心がある | 52.0 | 3 どちらかといえば関心がない | 4.2 | 5 わからない | 2.1 |
| 2 どちらかといえば関心がある | 37.6 | 4 関心がない | 1.1 | | (無回答 3.0) |

【問2で「1、2(関心がある)とお答えの方に】

問2-1 次の「気候変動への適応」の中から、あなたが特に関心のあるものを2つまで選んでください。(○は2つまで) (n=1,213)(%)

- | | |
|--------------------------------------|------|
| 1 リンゴやミカン、米などの農作物の品質が低下することへの対処 | 8.2 |
| 2 海藻が消失して貝などの漁獲量が減少するなど、水産業への被害の対処 | 7.0 |
| 3 ダムや湖の水温が上昇し、水質が悪化することへの対処 | 3.2 |
| 4 気温・水温の上昇により森林や海、湖などの生態系が変化することへの対処 | 35.4 |
| 5 水害をもたらす高い波や土砂災害などの自然災害が増加することへの対処 | 53.8 |
| 6 熱中症や蚊による感染症などの健康被害が拡大することへの対処 | 16.8 |
| 7 強い台風や激しい雨による交通・電気・水道などのインフラへの被害の対処 | 65.5 |
| 8 その他 | 0.6 |

(無回答 3.6)

【問2で「3、4(関心がない)とお答えの方に】

問2-2 「気候変動への適応」に関心を持つことが難しいと思うのはなぜですか。次の中から2つまで選んでください。(○は2つまで) (n=72)(%)

- | | |
|---|------|
| 1 気候変動によりどのような影響があるのかよくわからないから | 30.6 |
| 2 気候変動による影響の危機感が感じられないから | 29.2 |
| 3 具体的に何をしたらいいのかわからないから | 41.7 |
| 4 「気候変動への適応」は個人よりも国や自治体、大企業が率先して取り組むべきだから | 20.8 |
| 5 その他 | 8.3 |
| 6 特に理由はない | 11.1 |

(無回答 一)

環境に配慮した生活

- 問3 あなたは、多少値段が高くても再生可能エネルギーを利用した電力を購入したいと思いますか。(○は1つ) (n=1, 353) (%)
- 1 購入したいと思う 29.1 2 購入したいと思わない 17.7 3 どちらともいえない 51.1
(無回答 2.1)
- 問4 あなたは、多少値段が高くても有機栽培など環境にやさしい方法で作られた農作物を購入したいと思いますか。(○は1つ) (n=1, 353) (%)
- 1 購入したいと思う 45.1 2 購入したいと思わない 10.9 3 どちらともいえない 42.1
(無回答 1.9)
- 問5 あなたは、興味のある環境問題について情報を収集していますか。(○は1つ) (n=1, 353) (%)
- 1 収集している 24.0 2 収集していない 43.2 3 どちらともいえない 30.3
(無回答 2.5)
- 問6 あなたは、NPO等が行っている環境保全活動に参加したいと思いますか。(○は1つ) (n=1, 353) (%)
- 1 参加したいと思う、すでに参加している 11.2 3 どちらともいえない 55.3
2 参加したいと思わない 31.6 (無回答 1.9)
- 問7 あなたは、企業等の持つ技術力が、地球温暖化などの環境問題の解決に生かされていると思いますか。(○は1つ) (n=1, 353) (%)
- 1 生かされていると思う 42.1 2 生かされていると思わない 20.7 3 どちらともいえない 35.1
(無回答 2.1)

生物多様性

- 問8 あなたは、「生物多様性」の言葉の意味を知っていますか。(○は1つ) (n=1, 353) (%)
- 1 言葉の意味を知っている 37.0 3 知らなかった(今回の調査で初めて知った) 28.5
2 意味は知らないが言葉は聞いたことがある 32.2 (無回答 2.4)

「生物多様性」とは、様々な自然が存在し、そこに住む様々な生きものたちに個性があり、お互いに関わりを持っていることをいいます。※

こうした様々な自然や生きものたちが育む水や空気、食べ物などの恵みにより、私たちの暮らしは支えられています。

そのことを理解し、生物多様性を守り、その恵みを将来に引き継いでいくことが大切です。

※ 専門的には、「生態系」、「生物の種」、「遺伝子」の3つのレベルで違いがあることをいいます。(生物多様性に関する条約より)

- 問9 神奈川県における生物多様性の保全について、あなたは、どの取組が重要だと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。(○は3つまで) (n=1, 353) (%)
- 1 山地や里山、都市や河川・海などの自然環境を保全する取組 84.8
2 希少な動植物を保護する取組 38.7
3 外来生物を防除する取組 59.8
4 野生動物による被害を軽減する取組 25.9
5 一人ひとりの「生物多様性の理解と行動」に役立つ取組 33.5
6 その他 1.0
7 わからない 3.5
(無回答 2.4)

問 10 生物多様性について知る、または行動する機会として、あなたは、どの取組に参加したいと思
いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも) (n=1, 353) (%)

1 生物多様性の保全などに関する講座や研修会	15.6
2 自然や生きものとふれあう自然観察会	30.5
3 身近な生きものの生息状況などを調査する活動	17.3
4 緑地や里地里山など自然環境を保全・再生する活動	37.5
5 みどりの保全などに対する募金や寄付	20.7
6 その他	1.7
7 参加したいとは思わない	17.8

(無回答 10.2)

鳥獣被害

問 11 神奈川県では、人と野生鳥獣とのあつれきにより、農林業被害、人身被害、生活被害などが発
生しています。そのような被害を及ぼす野生鳥獣として、次の中からあなたが知っているものを
すべて選んでください。(○はいくつでも) (n=1, 353) (%)

1 サル	68.4	6 ハクビシン	61.2	11 ムクドリ	33.2
2 イノシシ	74.2	7 タヌキ	33.8	12 カラス	75.4
3 ニホンジカ	33.1	8 アナグマ	11.2	13 その他	1.8
4 ツキノワグマ	29.3	9 クリハラリス(タイワンリス)	23.7	14 どれも知らなかった	1.9
5 アライグマ	39.4	10 ヒヨドリ	15.2		

(無回答 3.8)

問 12 あなたが、神奈川県で鳥獣被害が生じる原因だと思うことは何ですか。次の中からあてはまる
ものをすべて選んでください。(○はいくつでも) (n=1, 353) (%)

1 農業従事者の高齢化	28.7	7 地球温暖化による生息環境の変化	56.2
2 狩猟者の減少	29.7	8 外来生物の移入	46.6
3 中山間地域※の過疎化	34.1	9 野生鳥獣の生態に関する知識のなさ	22.8
4 耕作放棄地の増加	32.0	10 その他	4.4
5 観光客による餌付け	41.6	11 わからない	4.5
6 収穫されない果実や廃棄された野菜等による誘引	19.6		

(無回答 3.6)

※ 中山間地域とは、山間地及びその周辺で、傾斜地が多いなど地形的条件が悪い地域をいいます。

問 13 鳥獣被害問題を解決するために、あなたは、どのような取組であれば参加したいと思
いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも) (n=1, 353) (%)

1 農林業被害を及ぼす野生鳥獣の生態等を学ぶ研修	28.8
2 鳥獣被害の見分け方を学ぶ研修	17.0
3 鳥獣被害を防ぐためのやぶ刈作業※、防護柵の設置等の実技研修	19.3
4 狩猟免許の取得	6.4
5 担い手不足解消のための農業ボランティア	19.2
6 その他	4.4
7 わからない	36.7

(無回答 6.7)

※ 草木が生い茂るやぶは、鳥獣の隠れ場になり、体の大きな野生鳥獣を農地に近づけやすくしてしまいます。

かながわの広報

問 14 神奈川県では、「県のたより」などの広報紙や県提供のテレビ・ラジオ番組、インターネット、ホームページなどを通じて、いろいろな県政情報をお伝えしています。あなたは、神奈川県が県政の情報を十分に伝えていると思いますか。(○は1つ) (n=1, 353) (%)

1 伝えていると思う	9.3	4 伝えていないと思う	9.8
2 どちらかといえば伝えていると思う	38.9	5 わからない	23.8
3 どちらかといえば伝えていないと思う	14.2		(無回答 4.1)

問 15 神奈川県が県政情報をお伝えする広報媒体について、知っているものをすべて選んでください。(○はいくつでも) (n=1, 353) (%)

1 県の広報紙「県のたより」	75.2	5 県のホームページ	29.6
2 県のインターネット動画サイト「かなチャンTV」	5.3	6 県のSNS (Twitter、Facebookなど)	3.7
3 県提供のテレビ番組 (tvk「カナフルTV」)	18.0	7 県が発行する冊子・パンフレット・チラシなど	24.2
4 県提供のラジオ番組 (FMヨコハマ「KANAGAWA Muffin」)	14.0	8 新聞での紙面広報	19.4
		9 タウン誌、ミニコミ誌など	25.3
		10 知っているものはない	8.1
			(無回答 4.3)

問 16 あなたは、神奈川県の情報(事業や行事、お知らせなど)を、どこから入手していますか。

次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも) (n=1, 353) (%)

1 県の広報紙「県のたより」	64.2	7 県が発行する冊子・パンフレット・チラシなど	19.5
2 県のインターネット動画サイト「かなチャンTV」	1.7	8 新聞での紙面広報	22.0
3 県提供のテレビ番組 (tvk「カナフルTV」)	10.3	9 テレビ・ラジオのニュースなど	24.2
4 県提供のラジオ番組 (FMヨコハマ「KANAGAWA Muffin」)	7.1	10 一般のホームページ	7.5
5 県のホームページ	16.9	11 一般のTwitterやFacebook	3.9
6 県のSNS (Twitter、Facebookなど)	3.2	12 タウン誌、ミニコミ誌など	20.0
		13 家族や知人、町内会など周囲の人から	19.1
		14 その他	0.8
		15 どこからも入手していない	9.5
			(無回答 3.7)

問 17 神奈川県が情報を発信する上で、今後、積極的に力を入れたほうがよいと思う広報の方法は何か。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。(○は3つまで) (n=1, 353) (%)

1 県の広報紙「県のたより」	45.7	5 県のホームページ	27.1
2 県のインターネット動画サイト「かなチャンTV」	7.3	6 県のSNS (Twitter、Facebookなど)	14.7
3 県提供のテレビ番組 (tvk「カナフルTV」)	13.8	7 県が発行する冊子・パンフレット・チラシなど	19.4
4 県提供のラジオ番組 (FMヨコハマ「KANAGAWA Muffin」)	6.9	8 新聞での紙面広報	20.3
		9 タウン誌、ミニコミ誌など	17.6
		10 その他	3.1
		11 特になし	9.2
			(無回答 11.0)

スポーツ

問 18 あなたは、この1年間で1日に30分以上の運動やスポーツ※をした日数を全部合わせると、何日くらいになりますか。(○は1つ) (n=1, 353) (%)

1 週に5日以上(年251日以上)	10.2	5 月に1~3日程度(年12日~50日)	14.2
2 週に3日程度(年151日~250日)	15.9	6 3ヶ月に1~2日程度(年4日~11日)	6.6
3 週に2日程度(年101日~150日)	14.6	7 年に1~3日程度	11.7
4 週に1日程度(年51日~100日)	13.5	8 わからない	10.1

(無回答 3.3)

※ 1日30分とは、1回10分程度の運動やスポーツを合計して30分でも構いません。

また、運動やスポーツとは、ルールや決まりに基づいて活動する陸上競技や球技、武道だけではなく、体操、ダンス、レクリエーションとして行われる身体活動や、ウォーキングなどの軽度の運動も含まれます。

問 19 あなたは、「3033(サマルサッサ)運動※」について知っていますか。(○は1つ) (n=1, 353) (%)

1 言葉の意味を知っている	5.0	3 知らなかった(今回の調査で初めて知った)	81.6
2 言葉は聞いたことがある	10.6		(無回答 2.9)

※ **3033(サマルサッサ)運動**とは、1日30分、週3回、3ヶ月間継続して運動やスポーツを行い、運動やスポーツを暮らしの一部として習慣化する取組のことをいいます。

問 20 あなたは、「総合型地域スポーツクラブ※」について知っていますか。(○は1つ) (n=1, 353) (%)

1 言葉の意味を知っている	7.5	3 知らなかった(今回の調査で初めて知った)	75.7
2 言葉は聞いたことがある	13.9		(無回答 2.9)

※ **総合型地域スポーツクラブ**とは、地域住民が主体となって運営する多種目、多世代、多志向型のスポーツクラブのことをいいます。

問 21 あなたは、「かながわパラスポーツ※」について知っていますか。(○は1つ) (n=1, 353) (%)

1 言葉の意味を知っている	4.4	3 知らなかった(今回の調査で初めて知った)	79.7
2 言葉は聞いたことがある	13.1		(無回答 2.8)

※ **かながわパラスポーツ**とは、すべての人が自分の運動機能を活かして同じように楽しみながらスポーツをする、観る、支えることをいいます。

問 22 あなたは、この秋横浜市ほかで開催されたラグビーワールドカップ2019を観戦しましたか。

(○はいくつでも) (n=1, 353) (%)

1 直接試合会場で観戦した	1.4
2 ファンゾーン※で観戦した	0.9
3 ファンゾーン以外のパブリックビューイング※で観戦した	0.5
4 テレビで観戦した	72.1
5 その他	1.0
6 全く観戦しなかった	21.7

次のページの
問 22-1 にお答え
ください。

(無回答 3.4)

※ **ファンゾーン**とは、ラグビーワールドカップ2019の開催期間中、各開催都市に設置されるイベントスペースです。

※ **パブリックビューイング**とは、広場や競技場などに大型スクリーンを設置し、大勢でスポーツの試合などを見ることをいいます。

【問 22 で「1～4（観戦した）」とお答えの方に】

問 22-1 ラグビーワールドカップ 2019 を観戦して、ラグビーに対して興味を持ちましたか。

(○は1つ) (n=1,001) (%)

1 以前からファンだったが、さらに興味が深まった	17.9
2 ワールドカップを見て、ラグビーに興味を持った	62.6
3 どちらともいえない	13.4
4 特に興味は持てなかった	4.2
5 その他	1.0

(無回答 0.9)

地域コミュニティ

問 23 あなたは将来、親や子、親族の近くに、あるいは一緒に住みたいという考えがありますか。(○は1つ)

(n=1,353) (%)

1 ある	24.3	4 ない	9.2
2 どちらかといえばある	27.9	5 わからない	10.9
3 どちらかといえばない	6.0	6 すでに近くに、あるいは一緒に住んでいる	18.8

(無回答 3.0)

問 24 あなたは日頃、地域において、どの年代の人とコミュニケーションを取っていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

(n=1,353) (%)

1 年代は問わず取っている	28.4	4 30代	16.6	7 60代	26.5	10 取っていない	21.1
2 10代以下	4.2	5 40代	21.4	8 70代	23.5		
3 20代	6.1	6 50代	22.4	9 80代以上	8.8		

(無回答 2.9)



【問 24 で「1～9（取っている）」とお答えの方に】

問 24-1 その年代の方とのコミュニケーションに期待しているものは何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

(n=1,028) (%)

1 楽しさが得られる	52.6	5 知恵をもらえる	44.8
2 元気をもらえる	42.0	6 一人ではないと感じ、安心できる	30.7
3 悩み事を相談できる	24.3	7 その他	2.0
4 情報が得られる	69.2	8 期待するものはない	6.8

(無回答 0.2)

【全員の方がお答えください】

問 25 あなたが思い描く「地域コミュニティ」のイメージはどの範囲ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

(n=1,353) (%)

1 範囲にこだわらず幅広い	27.3	6 保育園、幼稚園でのつきあい	14.8
2 向こう三軒両隣程度	12.9	7 小学校の学区でのつきあい	21.0
3 自宅の周囲で 20 軒程度	7.5	8 中学校の学区でのつきあい	12.4
4 自治会、町内会	54.5	9 その他	2.7
5 自宅から徒歩 15 分程度	12.0	10 わからない	7.5

(無回答 3.6)

地域社会との関わり

問 26 長い人生を充実させるため、コミュニティなど、地域社会との関わりを大切にしていますか。(○は1つ)
(n=1, 353) (%)

1 そう思う 67.8 2 そう思わない 27.8 (無回答 4.4)

問 27 あなたが退職後や 65 歳以降の人生でやりたいと考えていること(すでに迎えている方は現在やっていること)は何ですか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(○は1つ)
(n=1, 353) (%)

1 地域活動(ボランティア、自治会等)	5.3	5 子・孫・家族の世話	8.7
2 趣味の活動(運動等を含む)	43.3	6 その他	1.3
3 学びなおし(大学、市町村・民間等が実施する各種講座等)	4.7	7 考えていない	9.5
4 仕事	10.2		(無回答 16.9)

問 28 地域活動(ボランティア、自治会等)の参加頻度について、次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(○は1つ)
(n=1, 353) (%)

1 週に3回以上	1.4	4 半年に1、2回程度	8.4
2 週に1、2回程度	4.3	5 年に1、2回程度	15.2
3 月に1、2回程度	14.0	6 参加していない	53.4
			(無回答 3.4)

【問 28 で 4、5、6 のいずれかをお選びの方に】 ←

問 28-1 地域活動の参加の妨げとなる理由として特にあてはまるものを1つ選んでください。

(○は1つ) (n=1, 041) (%)

1 時間がない	38.3	4 健康面に不安がある	7.9
2 参加するきっかけがない	22.6	5 関心がない	13.6
3 他人と関わるのがおっくうである	10.0	6 その他	4.1

(無回答 3.5)

【全員の方がお答えください】

問 29 地域活動に関して、あなたはどのような支援やきっかけがあれば参加しやすくなると思いますか。次の中から特にあてはまるものを1つ選んでください。(○は1つ)
(n=1, 353) (%)

1 知人や家族等からの誘い	51.4	4 景品等	6.9
2 広告、チラシやウェブサイト、SNS等による情報提供	16.3	5 その他	7.4
3 学校や職場等からの働きかけ	10.6		(無回答 7.4)

問 30 あなたが住んでいる地域について、特に課題だと感じていることは何ですか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(○は1つ)
(n=1, 353) (%)

1 自治会等の地域活動の担い手が不足している	23.2
2 地域のつながりが希薄である	19.3
3 地域活動に新たに参加しにくい	16.5
4 地域活動をする場所が不足している	2.4
5 交通の便が悪く、外出(買い物・通院等)が困難である	4.3
6 その他	3.9
7 特にない	25.1

(無回答 5.3)

「未病改善」の取組

問 31 あなたは、「未病(ME-BYO)」という言葉を知っていますか。(○は1つ) (n=1, 353) (%)

- | | | | |
|------------|------|--------------------------|------|
| 1 聞いたことがある | 61.4 | 2 聞いたことがない(今回の調査で初めて聞いた) | 36.1 |
| | | (無回答 2.4) | |

「未病」とは、健康と病気を二分論の概念で捉えるのではなく、心身の状態は「健康」と「病気」の間を連続的に変化するものとして捉え、このすべての変化の過程を表す概念です。

健康 未病 病気

【問31で「1 聞いたことがある」とお答えの方に】

問 31-1 あなたは、「未病(ME-BYO)」の言葉の意味を知っていますか。(○は1つ) (n=831) (%)

- | | | | |
|---------------|------|------------------------------|------|
| 1 言葉の意味を知っている | 67.1 | 2 言葉の意味は知らなかった(今回の調査で初めて知った) | 31.3 |
| | | (無回答 1.6) | |

【全員の方がお答えください】

問 32 あなたは、過去の1年間で「未病改善※」の取組(バランスの良い食事、運動、人との交流等)を以前と比べて行うようになったと思いますか。(○は1つ) (n=1, 353) (%)

- | | |
|-----------------------------|------|
| 1 もともと行っており、今も行っている | 31.7 |
| 2 以前ほどではないが、少しずつ行っている | 18.0 |
| 3 以前は行っていたが、まったく行わなくなった | 2.7 |
| 4 以前は行っていなかったが、行うようになった | 5.2 |
| 5 以前は行っていなかったが、少しずつ行うようになった | 14.5 |
| 6 以前から行っておらず、今も行っていない | 24.2 |

(無回答 3.7)

※「未病改善」とは、心身の状態の変化の中で、特定の疾患の予防にとどまらず、心身をより健康な状態に近づけていくことです。神奈川県では「食」「運動」「社会参加」を基本に、「未病改善」の取組を進めています。

「食」： 毎日の食生活を見直し、健康的な食生活へ改善すること。オーラルフレイル(心身の機能の低下につながる口腔機能の虚弱な状態)対策も重要です。

「運動」： 日常生活にスポーツや運動を取り入れること。質の良い睡眠も重要です。運動には、陸上競技や球技、武道などだけでなく、レクリエーションとして行われる身体活動やウォーキング、ラジオ体操なども含まれます。

「社会参加」： ボランティアや趣味の活動等で他者と交流し、社会とのつながりを持つこと。

問 33 あなたが、「未病改善」の取組(バランスの良い食事、運動、人との交流等)をするにあたって必要だと思うものは何ですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。(○は3つまで)

(n=1, 353) (%)

- | | |
|---|------|
| 1 医師等、専門家からの専門的知見に基づく現在の健康状態に関するアドバイス | 41.7 |
| 2 健康に良い食材や調理方法等、食に関する情報 | 38.7 |
| 3 ボランティア募集など社会参加できる情報や相談窓口 | 7.7 |
| 4 スポーツセンター等、気軽に運動ができる施設 | 42.3 |
| 5 家族、友人等、一緒に健康に良い行動ができる仲間 | 37.9 |
| 6 自分の健康状態を気軽に知ることができる施設やイベントなど | 34.0 |
| 7 民間企業が提供する健康関連の商品サービス | 3.7 |
| 8 将来(10~20年後)の自分に起こりうる健康リスク(生活習慣病や認知症など)を知ること | 24.2 |
| 9 その他 | 1.8 |
| 10 特になし | 3.7 |

(無回答 3.7)

かかりつけ薬剤師・薬局

かかりつけ薬剤師・薬局は、一人ひとりの服薬状況を把握し、薬の飲み合わせや副作用などの相談をはじめ、日常の健康相談に応じる役割を担っています。

問 34 あなたは、医療機関で処方箋を受け取った場合、どのような基準で薬局を選びますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(○は1つ) (n=1, 353) (%)

1	かかりつけの薬剤師がいる	9.5
2	処方箋を受け取った医療機関からの距離が近い	62.9
3	自宅からの距離が近い	14.4
4	利用している駅やバス停の近くにある	1.7
5	ドラッグストアやスーパーマーケット等に併設されている	3.7
6	市販薬や衛生用品の取り扱いがある	0.4
7	待ち時間が少ない	2.2
8	その他	1.5

(無回答 3.8)

問 35 あなたは、薬局で調剤された薬を受け取る時以外に、いつどのように薬の効き目や副作用等に関することを、薬局の薬剤師に相談したいですか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(○は1つ) (n=1, 353) (%)

1	薬を服用している期間中に体調に変化があり、副作用等を疑うとき	37.7
2	自身の体調の変化や薬剤師の判断に関係なく、気になったときにいつでも(薬局に立ち寄って相談)	17.2
3	自身の体調の変化や薬剤師の判断に関係なく、気になったときにいつでも(電話等で相談)	13.4
4	自身の体調の変化に関係なく、薬剤師が必要と判断したとき(薬剤師から連絡してほしい)	3.4
5	その他	1.6
6	相談したいと思うことはない	23.8

(無回答 2.9)

問 36 あなたは、かかりつけの薬剤師・薬局にどのようなことをしてほしいですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。(○は3つまで) (n=1, 353) (%)

(かかりつけの薬剤師・薬局を決めていない方は、決めたものと仮定してお答えください)

1	服用している薬の効果や副作用の継続的な確認	50.2
2	現在服用している医療機関から出された薬及び市販薬の情報すべての把握	21.2
3	現在だけでなく、過去に服用していた薬の情報(アレルギーや副作用歴等)も含めた継続的な把握	17.7
4	服用している薬と食べ物の飲み合わせの相談	27.9
5	薬に関する相談(薬の変更等)の医師への橋渡し役	17.2
6	家で余っている薬(残薬)に関する相談	11.2
7	夜間・休日など薬局の開局時間外の対応	11.5
8	在宅医療や介護の相談	2.7
9	在宅医療における居宅への訪問対応	1.3
10	病気のことだけでなく、日常の健康に関する相談	9.6
11	健康食品に関する情報提供	5.1
12	ジェネリック医薬品(後発医薬品)に関する情報提供	27.2
13	特になし	10.6
14	その他	1.2

(無回答 3.8)

肝炎・アルコール依存症対策

問 37 あなたは、ウイルス性肝炎という病気を知っていますか。(○は1つ) (n=1, 353) (%)

肝炎は、肝臓の細胞が破壊され炎症が起きる病気で、日本では特にB型、C型のウイルス性肝炎にかかる人が多くなっています。ウイルス性肝炎は、肝硬変や肝がんなどの命に関わる病気に進行することもあります。神奈川県では、肝炎の早期発見、早期治療のために県保健福祉事務所と県内の一部の医療機関で無料でのB型及びC型肝炎ウイルス検査を実施しています。

1 どのような病気か知っている 46.6 3 知らなかった(今回の調査で初めて知った) 9.5
2 言葉は聞いたことがある 40.7 (無回答 3.1)

問 38 あなたは、これまでに「肝炎ウイルス検査」を受けたことがありますか。(○は1つ) (n=1, 353) (%)

1 受けたことがある 23.5 2 受けたことがない 62.1 3 わからない 11.5 (無回答 2.9)

【問38で「2 受けたことがない」とお答えの方に】

問 38-1 「肝炎ウイルス検査」を受けなかった主な理由を1つ選んでください。(○は1つ) (n=840) (%)

1 費用がかかるから 6.9 3 日程や場所がわからなかったから 24.5
2 健康なので必要ないから 56.8 4 その他 10.5 (無回答 1.3)

【全員の方がお答えください】

問 39 アルコール依存症について、相談できる場所として次の中から知っているものをすべて選んでください。(○はいくつでも) (n=1, 353) (%)

1 医療機関(病院や診療所など) 76.3
2 公的機関(精神保健福祉センターや保健所など) 34.7
3 自助グループ(断酒会などの依存症の当事者やその家族の組織) 21.1
4 自助グループ以外のNPOなどの民間団体 12.3
5 わからない 15.5
(無回答 3.3)

妊娠・出産等に関するライフプランニング

問 40 神奈川県では、妊娠・出産等に関する正しい知識の普及啓発を行っています。

妊娠・出産等について、次の中からあなたが知っているものをすべて選んでください。(○はいくつでも) (n=1, 353) (%)

1 医学的に、男女の加齢により妊娠しにくくなる 81.4
2 卵子は胎児のうちに一生分作られ、出生後に新たに作られることはない 18.6
3 精子は加齢とともに徐々に作られる数が減少する 62.4
4 不妊の原因は、男性に原因がある場合、女性に原因がある場合、男女両方に原因がある場合がある 78.4
5 不妊に対する治療を受けても、女性の年齢が高いほど出産に至る可能性は低くなる 64.2
6 どれも知らなかった 5.2
(無回答 6.8)

【問40で「1～5(知っている)」とお答えの方に】

問 40-1 こうした妊娠・出産や不妊に関する情報をどこから入手していますか。次の中から最もあてはまるものを1つ選んでください。(○は1つ) (n=1, 190) (%)

1 家族 4.7 8 医師や看護師などの医療従事者 6.0
2 友人・知人 5.4 9 学校の授業 3.3
3 テレビ番組・テレビCM 19.7 10 市区町村(自治体)からの案内 —
4 本・雑誌 9.8 11 その他 1.0
5 新聞 3.9 12 覚えていない 8.3
6 インターネット(SNSやアプリなども含む) 13.2 13 わからない 1.1
7 病院のポスター・冊子など 1.4 (無回答 22.2)

【全員の方がお答えください】

問 41 男女の加齢により妊娠しにくくなるなど、妊娠・出産と年齢との関係についての情報を、いづ
 ころに知っておくのがよいと思いますか。(○は1つ) (n=1, 353) (%)

1 小学生の頃 (11歳以下)	5.0	4 大学生の頃 (18~22歳頃)	18.3	7 35歳以上	0.7
2 中学生の頃 (12~14歳頃)	28.0	5 23~30歳頃	9.0	8 わからない	4.7
3 高校生の頃 (15~17歳頃)	29.2	6 30~35歳頃	1.0	9 知る必要はない	1.1

(無回答 2.9)

問 42 「将来、自分が子どもを持つのか持たないのか、どのようにその希望を実現するか」といった
 観点からの人生設計(ライフプラン)について、あなたは考えたことがありますか。(○は1つ)

(n=1, 353) (%)

1 考えたことがある	60.5	2 考えたことがない	17.7	3 覚えていない	15.4
------------	------	------------	------	----------	------

(無回答 6.5)

地震対策の取組

問 43 神奈川県では、首都直下地震や南海トラフ地震、神奈川県西部地震の発生の切迫性が指摘され
 るなど、大規模地震に対する備えが重要な課題になっています。

あなたの家では、大きな地震に備えて、どのような対策をとっていますか。あてはまるものを
 すべて選んでください。(○はいくつでも) (n=1, 353) (%)

1 非常持ち出し品を準備している	47.8
2 食料や飲料水を備蓄している	66.6
3 耐震性のある家に住んでいる	33.0
4 家具・家電などを固定し、転倒・落下・移動を防止している(一部固定を含む)	41.3
5 避難場所や避難経路を確認している	43.5
6 家族との連絡方法を確認している	31.9
7 防災訓練に積極的に参加している	9.4
8 感震ブレーカー等(揺れを感知して電気を止める器具)を設置している	6.6
9 消火器を設置している	28.9
10 その他	0.2
11 特に対策はしていない	8.0

「4」に○をつけた方

「4」に○をつけ
 なかった方は次の
 ページの間 43-2へ

(無回答 1.0)

【問43で「4 家具・家電などを固定し、転倒・落下・移動を防止している」とお答えの方に】

問 43-1 家具・家電などの転倒・落下・移動による被害の防止対策は、どの程度までできてい
 ますか。(○は1つ) (n=559) (%)

1 ほぼすべての家具・家電などの固定ができています	7.0
2 重量のある家具・家電などの固定はできています	29.2
3 重量のある家具・家電などの半分程度の固定はできています	21.1
4 重量のある家具・家電などの一部の固定はできています	41.3

(無回答 1.4)

【問43で「4 家具・家電などを固定し、転倒・落下・移動を防止している」に○をつけなかった方に】

問 43-2 家具・家電などの転倒・落下・移動防止対策ができていない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも) (n=794) (%)

1	どうやって固定してよいかわからないから	13.6
2	固定する方法がわかっても自分でできないと思うから	14.0
3	部屋の見た目が悪くなるから	9.8
4	家具や壁などに傷をつけるから	19.1
5	面倒だから	19.0
6	お金がかかるから	11.2
7	地震が起きても転倒・落下・移動しないと思うから	8.4
8	転倒・落下・移動しても危険ではないと思うから	8.8
9	固定しても大地震の時には効果がないと思うから	12.8
10	やろうと思っているが先延ばしにしているから	32.9
11	その他	4.7
12	特にない	4.8

(無回答 13.6)

【全員の方がお答えください】

問 44 海岸や海岸近くで、地震による強い揺れや長い時間の揺れを感じたら、あなたはどのように行動しますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(○は1つ) (n=1,353) (%)

1	すぐに海岸から避難する(地震後、5分以内で避難を開始)	88.2
2	何らかの用事を終えてから避難する(地震後、15分以内で避難を開始)	5.2
3	津波が迫ってから避難する	0.9
4	わからない	4.2

(無回答 1.4)

問 45 あなたは次のことを知っていましたか。「知っていた」、「知らなかった」のどちらかに○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ) (n=1,353) (%)

	知っていた	知らなかった	無回答
(1) 小さな揺れでも大きな津波になることがある	69.6	28.5	1.9
(2) 津波は、早ければ地震発生後数分で到達する	92.1	6.6	1.3
(3) 津波は、繰り返し襲ってくる	91.0	7.5	1.6
(4) 津波の伝わる速さは非常に速い(津波は、海が深いほど速く伝わる性質があり、沖合いではジェット機に匹敵する速さで伝わる)	54.9	42.7	2.4
(5) 「津波避難ビル」に指定されている建物がある	42.6	55.2	2.1
(6) 津波の浸水範囲や避難情報などが記載された「津波浸水予測図マップ」「津波ハザードマップ」がある	70.6	27.3	2.1
(7) 津波から避難するときは、「遠いところ」ではなく「高いところ」に逃げる必要がある	94.4	4.2	1.4
(8) 津波警報・注意報等が発表されると、避難を呼びかけるために、海岸にオレンジ色の旗(「オレンジフラッグ」といいます)が出されることがある	14.3	83.9	1.8

	知っていた	知らなかった	無回答
(9) 津波の発生する恐れがあるとき、海や海岸にいる人に対して、放送やサイレンで津波の情報を知らせることがある	81.8	13.0	5.2
(10) 東日本大震災の教訓を踏まえて、総合的な地域づくりの中で津波防災を推進する「津波防災地域づくりに関する法律」が平成23年12月に施行された	16.1	78.3	5.6

問 46 神奈川県では、平成27年3月に、津波防災地域づくりに関する法律（以下、「津波法」といいます。）に基づく「津波浸水想定」を公表しました。このことを踏まえ、現在、県では具体的な津波対策の促進に繋がる津波災害警戒区域の指定について、沿岸市町の意向や法の趣旨等を踏まえ、指定を進める意向のある地域から段階的に進めていくこととしています。津波法には、津波に対する警戒避難体制の整備をより確実なものとするために次のような制度があります。

「津波災害警戒区域」の指定

津波が発生した場合に、住民等の生命・身体に危害が生ずるおそれがある区域です。津波から「逃げる」ために、避難訓練の実施、津波ハザードマップの作成、避難施設の確保等、警戒避難体制を特に整備すべき区域です。建物の建築や開発行為は制限されません。

「津波災害特別警戒区域」の指定

津波災害警戒区域のうち、津波が発生した場合、建物が損壊・浸水し、住民等の生命・身体に著しい危害が生じるおそれがある区域です。身体的な理由などにより、津波から逃げるのが難しい住民等が、建物の中にも津波を「避ける」ことができるよう、社会福祉施設、医療施設、学校等を建築する場合などに、一定の規制があります。

「推進計画」の策定

津波防災地域づくりを推進するために市町村が作成する計画で、市町村が実施する施策だけでなく、国・都道府県・地域住民など多様な主体によるハード（津波防護施設の整備）・ソフト（避難訓練の実施等）のあらゆる施策を計画に位置付けることができます。

津波に対する防災・減災の観点から、あなたが住んでいる地域で実施が望まれる制度はありますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも） (n=1,353) (%)

1 「津波災害警戒区域」の指定	17.1
2 「津波災害特別警戒区域」の指定	15.4
3 津波防災地域づくりの総合防災ビジョンを示す「推進計画」の策定	15.2
4 特にない	28.6
5 わからない	32.8

(無回答 10.1)

自転車損害賠償責任保険等への加入

問 47 あなたは、通勤や通学、その他日常生活で自転車を利用していますか。（○は1つ） (n=1,353) (%)

1 利用している	35.0	2 利用していない	60.6	(無回答 4.4)
----------	------	-----------	------	-----------

【問47で「1 利用している」とお答えの方に】

問 47-1 あなたは、自転車利用中に事故を起こした際に、相手方の損害を賠償することができる保険（自転車損害賠償責任保険等）に加入していますか。（○は1つ） (n=473) (%)

1 加入している	60.3	2 加入していない	31.5	3 わからない	8.0
----------	------	-----------	------	---------	-----

(無回答 0.2)

神奈川県内では、自転車利用中に歩行者と衝突し、転倒させる重大事故が発生しているほか、国内では、過去に自転車利用者側に9,000万円を超える賠償金が課せられた事例もあります。

自転車損害賠償責任保険等とは、このような自転車利用中の交通事故で、相手の生命、身体の被害に係る損害を補填する保険や共済のことを言います。

自転車損害賠償責任保険等には、自転車専用の保険や自動車保険・火災保険等の特約（個人賠償責任保険）のほか、PTA保険や自転車安全整備店での点検・整備を受けたことで加入できるTSマーク付帯保険などがあります。

【全員の方がお答えください】

問 48 あなたは、すべての自転車利用者が自転車損害賠償責任保険等に加入することについてどう思いますか。（○は1つ） (n=1, 353) (%)

1 加入すべきである	81.2	2 その必要はない	5.0	3 わからない	9.2
(無回答 4.6)					

...

● 最後に集計結果を分析するために必要な項目についてお聞きます。（個人を特定するものではありません。）

F 1 お住まいの地域はどちらですか。 (n=1, 353) (%)

1 横浜（横浜市）	39.8
2 川崎（川崎市）	12.3
3 相模原（相模原市）	6.9
4 横須賀三浦（横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町）	8.9
5 県央（厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村）	8.3
6 湘南（平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町）	14.9
7 県西（小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町）	4.8
(無回答 4.1)	

F 2 あなたの性別をお聞かせください。 (n=1, 353) (%)

1 男性	42.8	2 女性	50.8
(無回答 6.4)			

F 3 あなたの年齢は、おいくつですか。（2019年11月1日時点） (n=1, 353) (%)

1 18～19歳	0.1	6 40～44歳	9.4	11 65～69歳	10.4
2 20～24歳	1.4	7 45～49歳	11.2	12 70～74歳	8.3
3 25～29歳	4.5	8 50～54歳	9.6	13 75～79歳	6.4
4 30～34歳	5.6	9 55～59歳	9.5	14 80歳以上	4.4
5 35～39歳	8.0	10 60～64歳	7.5	(無回答 3.8)	

F 4 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。（同居、別居は問いません。）次の中からあてはまるものをすべて選んでください。（○はあてはまるものすべて） (n=1, 353) (%)

1 小学校入学前	12.2	6 大学、大学院等在学中	7.4
2 小学校在学中	13.7	7 学校教育終了 [未婚]	22.7
3 中学校在学中	6.9	8 学校教育終了 [既婚]	25.6
4 高校在学中	7.8	9 その他	3.5
5 短大、専門学校等在学中	0.7	10 子どもはいない	23.8
(無回答 4.5)			

F 5 現在のお宅の家族形態は、次のどれにあたりますか。(○は1つ) (n=1,353) (%)

1 一人暮らし(単身世帯)	9.9	4 祖父母と親と子の世帯(3世代世帯)	5.9
2 夫婦のみ(1世代世帯)	28.5	5 その他の世帯	4.8
3 親と子の世帯(2世代世帯)	50.0		(無回答 0.8)

F 6 あなたの現在のお仕事は、次のどれにあたりますか。1～9の中から1つ選んでください。
また、1～5を選んだ方は、右のア～ケの中からそれぞれ1つ選び○で囲んでください。

(n=1,353) (%)		(n=845) (%)	
1 自営業主	5.6	ア 農林水産業	0.5
2 家族従業者 (家業手伝い)	1.6	イ 商工サービス業(各種商店、飲食店、工事店などの経営)	5.6
3 勤め (フルタイム)	39.0	ウ 自由業(開業医、弁護士、茶華道師匠、芸術家など)	4.9
4 勤め (パートタイム)	16.1	エ 経営・管理職(会社等の部長級、官公庁の課長級以上)	8.8
5 内職	0.2	オ 専門・技術職(研究員、技術者、勤務医、看護師など)	19.1
6 主婦・主夫 (勤めについていない)	17.8	カ 事務職(事務系会社員・公務員、警察官、駅員など)	23.9
7 学生	0.9	キ 教育職(教諭、保育士など)	6.2
8 無職	15.1	ク 技能・労務職(工場の生産工程従事者、運転士など)	9.8
9 その他	1.0	ケ 販売・サービス職(商店、サービス業などの従業員)	19.2
(無回答 2.8)		(無回答 2.2)	

今回の調査でお伺いしたテーマについて、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

163人(12.0%)から自由意見が寄せられました。

今後調査してほしいテーマがございましたら、ご自由にお書きください。

152人(11.2%)から自由意見が寄せられました。

最後までご協力いただき、ありがとうございました。

同封の返送用封筒で、11月25日(月)までにご投函ください。(切手は不要です。)

なお、インターネットからご回答された方は、調査票の郵送は不要です。